



中山高陽《八州勝地図》(個人蔵)

フロアレクチャーのご案内

当館学芸員が展示室で作品について解説します。
5月19日(日) 14:00~

ギャラリーツアーのご案内

当館ボランティアが対話形式で展示室(第7室、ロダン館)の作品をご案内します(各回30分程度)。

6月1日(土) 13:30~、14:30~(第7室)

他の開催日時は当館ホームページをご覧ください。

第7室は収蔵品展入口、ロダン館については同入口に集合。申込不要。

諸派興隆

18世紀の
江戸画壇

2019 5/8 水 ▶ 6/9 日

18世紀の江戸画壇と聞いて、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか?

近年人気の伊藤若冲をはじめ、池大雅・与謝蕪村・円山応挙といった18世紀を代表する巨匠たちは、京阪地方で活躍しました。その頃の江戸画壇といえば、一般的には浮世絵のイメージが強いでしょう。古都・京都とは異なり、文化的な歴史が浅い当時の江戸では、浮世絵師だけでなく、京都にはいないタイプのさまざまな画家が活動していました。18世紀の江戸画壇では、江戸狩野派が急速に発展した大名文化の基盤を整える一方で、庶民文化を支えた浮世絵以外にも、新しいスタイルや発想に刺激を受け、南画家、南蘋派、洋風画などの諸派が勃興し、江戸画壇の輪郭が形成されていきます。江戸狩野派と浮世絵という、二大流派の周縁に諸派が興隆した18世紀の江戸画壇の状況は、混沌としています。それゆえに、フレッシュな魅力にあふれています。

本展示では、18世紀に江戸画壇を牽引した江戸狩野派の作品を概観し、その絵画様式が民間画壇に影響を与えた様子をご紹介します。そして、民間画壇で活躍した諸派のなかから、18世紀末、彗星のごとく現れ、江戸画壇の領袖となった谷文晁が、自らのスタイルを確立したことによって、諸派のスタイルが収束していく画壇の状況をご覧いただけます。



狩野典信《山水図(以古図)》(当館蔵)



高嵩谷《隅田川春景図》(個人蔵)

同時開催
企画展

古代アンデス文明展 5月18日(土)~7月15日(月・祝)

■開館時間/10:00~17:30(展示室への入室は17:00まで)

■休館日/毎週月曜日

*4/29(月・祝)と5/6(月・祝)開館、5/7(火)休館

■観覧料/一般 300円(団体200円)、大学生以下・70歳以上無料

*企画展をご覧になった方は無料。企画展の観覧料は、展覧会ごとに変ります。*団体のお申込/20名以上の団体のお申込は、美術館総務課へお問合わせください。学生の団体を引率の場合、引率の先生は無料になる場合があります。詳しくは美術館まで。*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は、企画展、収蔵品展とも無料でご覧いただけます。専用駐車場のほか、車椅子も完備しております。美術館総務課までお問合わせください。

■託児・授乳室/無料、予約不要でご利用できます。

*託児/毎週日曜日および祝日、10:30~15:30。対象は乳児・幼児(6ヶ月~小学校就学前)。定員7名。お預かりできる時間は2時間以内。「託児申込カルテ」に必要事項をご記入いただき、ご提出ください。*授乳室/開館日、10:00~17:30。*ベビーカーを無料でご利用できます。インフォメーションカウンターにお声をおかけください。



交通案内

- JR「草薙駅」から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
- JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分
- JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分
- 静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分
- 東名高速道路・静岡IC、清水IC、または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分